



# 国労石川

国鉄労働組合 石川県支部  
 発行人 大巻道秋  
 編集人 後藤通広  
 2022年4月7日 25-NO.17

## これでは生活できません！

ベアゼロ・夏季手当 1.34 箇月分  
 一時金 社員 5 万円支給



西日本会社は3月31日、2022年春闘における賃上げ要求に対し回答を行いました。一昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響による収入の落ち込みや業務量の減少により、グループ外出向や一時帰休の導入、コスト削減、合理化などで人件費を大幅に削減している状況のもと、基準昇給は実施するものの「ベアゼロ」・期末手当は「夏季手当1.34箇月分」とする低額回答であり、年末手当は「引き続き検討の上、別途回答する」とした回答は、年間臨給方式のあるべき姿ではありません。

会社の回答内容は、組合員の生活実態からは乖離しており、職場で懸命に働く労働者のこの間の労苦に背を向けるもので、我々は納得できません。

石川県支部は、4月1日怒りを込めて、長谷川社長宛に『西日本会社の「ベア・ゼロ」・「夏季手当1.34箇月」に対する抗議』文を送付しました。

2022年4月1日

西日本旅客鉄道株式会社

代表取締役社長 長谷川 一明 殿

国鉄労働組合 石川県支部  
 執行委員長 大巻 道秋

### 西日本会社の「ベア・ゼロ」・「夏季手当1.34箇月」に対する抗議

2019年12月に新型コロナが発生しその影響による収入の落ち込みを理由に、一昨年同期末手当の見直し・削減、昨年は夏季手当のみ回答し、年末手当は別途検討の上回答とし、年末手当の回答では夏季手当を下回る回答を行ってきた。会社は人件費を削減し、大規模開発や株主への配当は行ない、コロナでの経営危機を労働者に責任転嫁してきた。

3月31日会社は、①ベースアップは行なわない。②期末手当については、夏季手当 1.34 箇月分、年末手当は引き続き検討の上、別途回答するとした。口頭で無利子融資制度を今回も実施するとした。

新型コロナの影響による経営状況の落ち込みを、労働者に転嫁することは断じて許されるものではなく、日々業務に精励している労働者のモチベーションも低下している。

回答は、労働者の労苦に背を向けるものであり、我々は怒りを持って抗議する。今日の経営を支えてきたのは、安全・安心な鉄道輸送をめざし、日々、奮闘している組合員・労働者である。JR西日本会社の体力と大企業としての社会的責務を鑑みれば、到底納得いくものではない。「ベア・ゼロ」・「夏季手当1.34箇月」また回答のあり方に対し満身の怒りを込め抗議する。

以上